

アスリートが拓く企業の未来

セキショウグループには、仕事に励みながらアスリートとしての夢を追い続ける社員たちがいる。地元を腰を据え、仕事と競技の両立を目指す彼らの生き方は、豊かで健康・安心できる地域社会づくりに貢献するグループの理念とも一致する。各部門で業務をこなしつつ、自分の夢に向かって挑戦する4人が思いを語り合った。

「競技へのこだわりと、関心ある選手を選んだ理由を教えてください。」
須貝 子供の時から自転車競技のある選手一高に進学し、本格的に競技を始めました。高校・大学・成人部門で茨城県代表として選出され、国体に出場しています。セキショウホンダ守谷網の台店を選んだきっかけは、営業の仕事で希望していたこと、練習拠点である選手競技場が近い守谷市内という理由から入社を決めました。

城国体に向けて復帰し、ライフル射撃3姿勢で3位に入賞しました。家族をはじめ地元の方々の支えがあり、トップ争いに関わる選手に戻って頂いた恩を感じ、地元で就職を考えたとき、国体スポンサーであった関影商事の「地域に育てられ、地域に奉仕する」という企業姿勢に強く惹かれました。2020年4月に開園したみらいのもり保育園に勤務しています。

地域に貢献する企業の姿勢に共感し入社を決めました。現在は、デジタルトランスフォーメーション部にて勤務をしています。
山口 以前は野球に打ち込んでいたのですが、15歳の時に病気のため視覚障害になりました。現在はパラスポーツであるゴールボールをプレーしています。17歳でユース代表に入り、20歳の時にトップチームへ合流しました。私が関影商事に入社したきっかけは、盲学校高等部2年の時に出場した「全国盲学校弁論大会」の際、関正樹社長とお会いした事がきっかけで、卒業後に入社しました。現在は、総務部に仕事をしています。



ゴールボール
 やまぐち りょうが
山口 凌河
 関影商事 総務部
 2019年入社
 選手市出身 23歳
 2013年 世界ユース選手権優勝
 2018年 日本ゴールボール選手権2位
 2019年 同2位



「仕事と競技の両立に向けて目標や夢を教えてください。」
須貝 競技一筋ではなく、仕事でも1位を狙っていきます。自分が仕事と競技の両方で結果を残すことで、アスリートへの企業評価が高まり、アスリート採用が増える機運が醸成されれば良いと思います。また、スポーツイベントなどを発案して地域を盛り上げたいです。
山口 競技者としてはパリ五輪に向けてスタートラインに立ったという気持ちです。一方でライフル射撃の裾野を広げたいと考えます。海外には、クラブチームがあつて小学生から競技を始められ、射撃選手として生活できる国があります。日本は銃刀法の関係で年齢制限もあり、出発点が高いです。また日本の場合、女性アスリートは出産したら引退という風潮があり、私が取り組むことで後継者が活躍できる場を広げたいと考えています。

「普段の練習はどのように取り組んでいますか。」
須貝 プロ選手の練習が始まる前から仕事に行くまでの、朝の5時から8時までを自分の練習時間としています。
山口 木曜が練習日です。全日本などの大きな試合がある場合は1、2週間前から休みをいって試合に集中します。練習場は地元の桜川市にある県営ライフル射撃場です。
佐久間 私の練習場は主に水戸市の県武道館です。練習は月、水、金曜で、仕事が終わった後の午後7時から9時までです。仕事で遅くなってしまう時は自宅で射形の練習をしています。

「仕事と競技の両立に向けて目標や夢を教えてください。」
須貝 競技一筋ではなく、仕事でも1位を狙っていきます。自分が仕事と競技の両方で結果を残すことで、アスリートへの企業評価が高まり、アスリート採用が増える機運が醸成されれば良いと思います。また、スポーツイベントなどを発案して地域を盛り上げたいです。
山口 競技者としてはパリ五輪に向けてスタートラインに立ったという気持ちです。一方でライフル射撃の裾野を広げたいと考えます。海外には、クラブチームがあつて小学生から競技を始められ、射撃選手として生活できる国があります。日本は銃刀法の関係で年齢制限もあり、出発点が高いです。また日本の場合、女性アスリートは出産したら引退という風潮があり、私が取り組むことで後継者が活躍できる場を広げたいと考えています。

「競技を続けていることは、仕事の上でどんなメリットを感じますか。」
須貝 仕事をしているから結果が出ない、と言いきれませんが、学生時代に比べて競技に向ける時間は減りますが、与えられた環境



ライフル射撃
 やま けいこ
山田 優子
 社会福祉法人関影会 みらいのもり保育園
 2020年入社
 桜川市出身 42歳
 2018年 福井国体成年女子スモールボア伏射優勝
 全日本選手権スモールボア伏射優勝
 2019年 茨城国体成年女子スモールボア3姿勢3位

「仕事と競技の両立に向けて目標や夢を教えてください。」
須貝 競技一筋ではなく、仕事でも1位を狙っていきます。自分が仕事と競技の両方で結果を残すことで、アスリートへの企業評価が高まり、アスリート採用が増える機運が醸成されれば良いと思います。また、スポーツイベントなどを発案して地域を盛り上げたいです。
山口 競技者としてはパリ五輪に向けてスタートラインに立ったという気持ちです。一方でライフル射撃の裾野を広げたいと考えます。海外には、クラブチームがあつて小学生から競技を始められ、射撃選手として生活できる国があります。日本は銃刀法の関係で年齢制限もあり、出発点が高いです。また日本の場合、女性アスリートは出産したら引退という風潮があり、私が取り組むことで後継者が活躍できる場を広げたいと考えています。



セキショウアスリートクラブ
 ホームページ
<https://www.sekisho.co.jp/athlete/>

女性が活躍する場を広げたい

地域貢献する企業姿勢に共感

仕事も競技も1位を狙います

